

一般質問の意義

Q 議場だけの答弁だけでなく、進捗状況の説明を

A 真摯に受け止め議員とのコミュニケーションをより一層図る



澤田 源宏 議員

一般質問の意義

問 私は、地域の代表として愛荘町議会にて一般質問を行ってきた。その都度、町長をはじめ各担当課の職員からの答弁を聞いたが、その後の質問に対する進捗状況などの説明等が全くない。議場での説明、答弁だけでその場を乗り越えているようにしか思えない。質問に対するセレモニー的な答弁はやめていただきたい。もっと町民ファーストの気持ちを持って問題に取り組むべきである。

答 (総務担当政策監) 議員からの一般質問については、議会終了後速やかに各所管に質問の要旨と回答内容をまとめるよう指示し、情報共有、ならびに進捗管理の必要と必要な取り組みを実施している。

質問では進捗状況など、説明等が全く無く、議場のセレモニー的な答弁とのことであるが、決してそのような思いはない。

指摘いただいたことは、真摯に受け止め、議員とのコミ

高齢者外出支援システムの再構築

Q 町全体でマイカー有償運送のシステム化を

A 早急な導入はむづかしい



村西 作雄 議員

高齢者外出支援システムの再構築

問 愛のりタクシーは、ドアツードアではなく、高齢者が買い物にタクシーで行くのは気が引けるとの声もあり、利用者が求める真の公共交通になり得ていないのも事実。愛のりタクシーや循環バスのように、公共が移動提供時刻を何本か設定し、利用者に選んでもらう方式より、利便性を高めるため利用者が移動時刻を決め、公共や運営主体がそれに合わせ方式がムダがなく効率的。南山城村で今年から始まる次世代交通サービスとの先行事例や、従前の公共交通空白地有償運送の手法を検討し、町全体でマイカー有償運送をシステム化すべき。

答 (町長) 湖東圏域において、既に交通事業者との連携・協力のもとに地域公共交通の取り組みを進めており、お尋ねのマイカー有償運送については、早急に導入することは考えていないが、既存の近江鉄道線や

町内バス路線への財政支援に加え、愛のりタクシーの利用啓発や利便性向上の取り組みを進めていく。

町職員の働き方改革への取り組み

問 働き方改革が全国規模で推進されつつある現在、公務員においても率先垂範して働き方改革を進める必要がある。

①長時間労働の解消
6月に脳血管疾患で某課長が倒れたが、連日残業が続いていたようだ。管理職の間外勤務時間の把握方法は、また過労死ラインとされている、月80時間超えの管理職は月毎に何人か。
②正規・非正規職員の給与等格差是正
4月現在の正規・非正規職員数と、非正規職員の給与・賃金等格差是正の考え方・内容は、

答 (副町長) ①管理職は時間外勤務手当の支給対象でないため、システム管理は行っておらず、長時間勤務になった場合、上司の

声掛け程度で業務を調整するルールはなかった。また80時間超の管理職は、4月3人5月2人、6月1人、7月2人であった。

問 今後に向けて、「愛荘版町職員働き方改革」をどのように進めるか。

答 (町長) 職員の健康管理を第一とし、働きやすい職場となるよう、管理職を含め職員一人ひとりの意識改革を進めている。

災害等対策本部の立ち上げにかかる指揮・命令体制

問 台風や地震さらには凶悪事件対応など、町長は災害等対策本部長としていち早く町役場に駆け付け、対策本部を立ち上げ指揮・命令される必要がある。その早急な体制づくりを考えると、町のトップの実際の居場所・居住地については、内外に公言が必要。5月に私に明言された町内「市」での居住実態について、「市」の住民のみならずと町民に明言を求める。

答 (副町長) 含まれている。公務災害認定は本人または家族の申請に

答 (町長) 「市」が私の住まいである。

東部の観光開発

問 愛荘町東部における代表的な観光施設については金剛輪寺があり、11月には紅葉の見ごろを迎え、たくさん観光客が訪れる。また、近くには金剛苑や歴史文化博物館、町内外の観光地の紹介や土産物を販売している湖東三山館、矢取地蔵で有名な仏心寺がある。

ところがPRが行き届いていないのか、日本全体では外国人が3千万〜4千万人が訪れているといわれているが、6年前にICが設置されたものの、愛荘町を訪れる観光客はじり貧状態である。もっとマスコミの力を利用して観光客を呼び込むなどの名案がないか尋ねる。

また、湖東三山館の今後の運営について調査検討を加えるように会議で話があったが、その調査の結果はいかなるものか。



国宝金剛輪寺本堂

答 (産業担当政策監) 合併以前からの悲願であった「湖東三山SIC」が平成25年10月に開通し、交通量も当初の計画は1日2,300台の予想に対し、3月末のデータでは4,549台に増えてきている。

観光の中心となる金剛輪寺の観光客数は、平成30年全体で約75,000人に対し、シーズンの11月は全体の約7割と集中している。

普段においても、この活気を呼び込もうと農林商工課では観光物産推進室を設置し、観光振興の充実に取り組んで

なる。求めがあれば、必要な資料は提供したい。

問 今後に向けて、「愛荘版町職員働き方改革」をどのように進めるか。

答 (町長) 職員の健康管理を第一とし、働きやすい職場となるよう、管理職を含め職員一人ひとりの意識改革を進めている。

台風や地震さらには凶悪事件対応など、町長は災害等対策本部長としていち早く町役場に駆け付け、対策本部を立ち上げ指揮・命令される必要がある。その早急な体制づくりを考えると、町のトップの実際の居場所・居住地については、内外に公言が必要。5月に私に明言された町内「市」での居住実態について、「市」の住民のみならずと町民に明言を求める。

おり、紅葉シーズンだけでなく四季折々の愛荘町を発信できればと考えている。

特にメディアに取り上げられることは、効果的な観光発信であり、滋賀県でも映画やテレビのロケ地、CM撮影を誘致しており、愛荘町においても映画撮影等の実績もある。今後も各観光関連機関と密に連絡をとり、愛荘町の観光施設や資源のPRに努める。

次に「湖東三山館あいしょ」の経営プランについて、現在、秦荘観光協会に指定管理をお願いしているが、その指定管理も今年度末で終了することも踏まえ、町の東の玄関口である本施設のさらなる可能性を求め、来場者から愛される施設となることを期待し、専門業者による課題の洗い出しと調査を行い、4回の検討委員会を開催し、意見をいただいている。

できるだけ早い段階で説明し、観光振興の拠点として、町の魅力を発信し、活気ある施設となるよう、関係者一丸となって取り組んでいく。